

決算説明資料

～2014年3月期～

説明会開催予定日
2014年5月14日(水)

日本ハム株式会社

目 次

I . 2014年3月期 期末連結業績の総括

II . 2015年3月期の見通し

III . 2014年3月期 期末財務データ

I . 2014年3月期 期末連結業績の総括

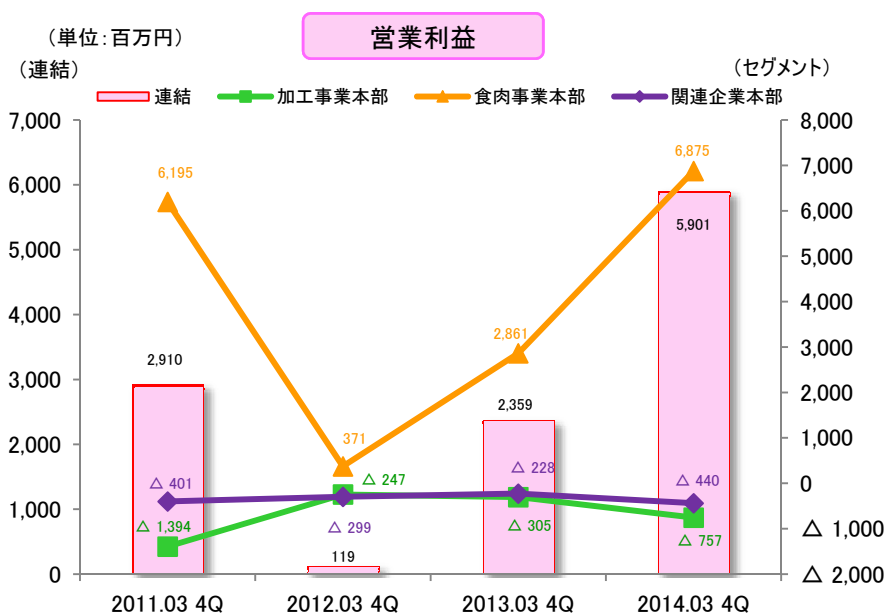
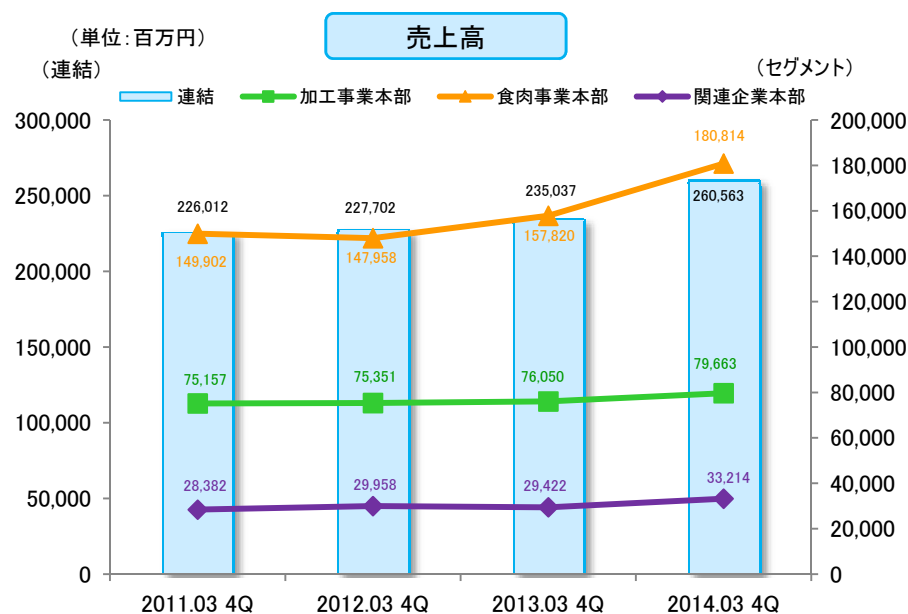
- 1. オペレーティング・セグメント情報 第4四半期**
- 2. オペレーティング・セグメント情報 通期**
- 3. オペレーティング・セグメント情報 加工事業本部**
- 4. オペレーティング・セグメント情報 食肉事業本部**
- 5. オペレーティング・セグメント情報 関連企業本部**
- 6. 海外 主要所在地別 業績**
- 7. 海外 主要所在地別 外部顧客売上高実績**

1. オペレーティング・セグメント情報 第4四半期

Copyright (C) 2014 Nippon Meat Packers, Inc. All rights reserved.

(単位: 百万円)

		2011.03 4Q	2012.03 4Q	2013.03 4Q	2014.03 4Q	前年差	前年比(%)
加工事業本部	売上高	75,157	75,351	76,050	79,663	3,613	4.8
	営業利益	△ 1,394	△ 247	△ 305	△ 757	△ 452	-
食肉事業本部	売上高	149,902	147,958	157,820	180,814	22,994	14.6
	営業利益	6,195	371	2,861	6,875	4,014	140.3
関連企業本部	売上高	28,382	29,958	29,422	33,214	3,792	12.9
	営業利益	△ 401	△ 299	△ 228	△ 440	△ 212	-
消去調整他	売上高	△ 27,429	△ 25,565	△ 28,255	△ 33,128	△ 4,873	-
	営業利益	△ 1,490	294	31	223	192	619.4
連結合計	売上高	226,012	227,702	235,037	260,563	25,526	10.9
	営業利益	2,910	119	2,359	5,901	3,542	150.1



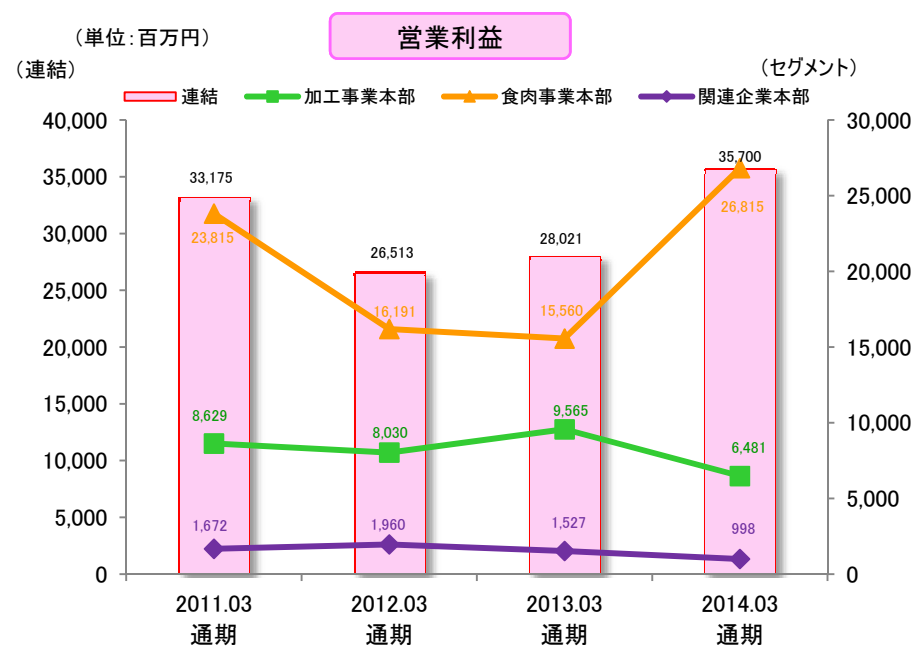
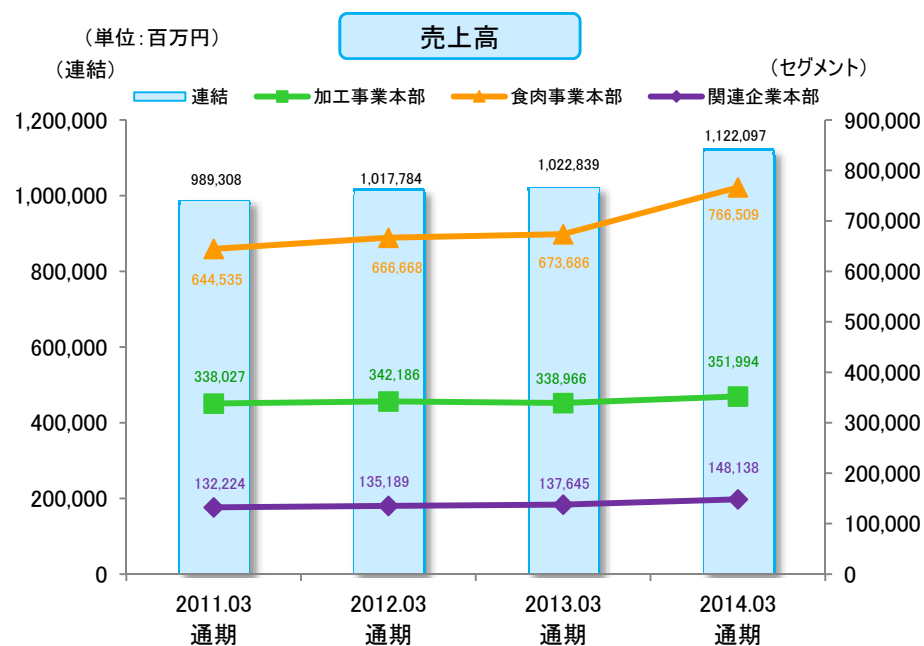
※オペレーティング・セグメント情報のセグメント別売上高と、当資料P.23の品種別の売上高の数値とは一致しません。
 ※各セグメントの売上高はセグメント間の内部売上高が含まれています。
 ※過年度の各セグメントの実績は、一部の子会社の管轄事業部を変更したため、組替再表示を行なっております。

2. オペレーティング・セグメント情報 通期

Copyright (C) 2014 Nippon Meat Packers, Inc. All rights reserved.

(単位: 百万円)

		2011.03 通期	2012.03 通期	2013.03 通期	2014.03 通期	前年差	前年比(%)
加工事業本部	売上高	338,027	342,186	338,966	351,994	13,028	3.8
	営業利益	8,629	8,030	9,565	6,481	△ 3,084	△ 32.2
食肉事業本部	売上高	644,535	666,668	673,686	766,509	92,823	13.8
	営業利益	23,815	16,191	15,560	26,815	11,255	72.3
関連企業本部	売上高	132,224	135,189	137,645	148,138	10,493	7.6
	営業利益	1,672	1,960	1,527	998	△ 529	△ 34.6
消去調整他	売上高	△ 125,478	△ 126,259	△ 127,458	△ 144,544	△ 17,086	-
	営業利益	△ 941	332	1,369	1,406	37	2.7
連結合計	売上高	989,308	1,017,784	1,022,839	1,122,097	99,258	9.7
	営業利益	33,175	26,513	28,021	35,700	7,679	27.4

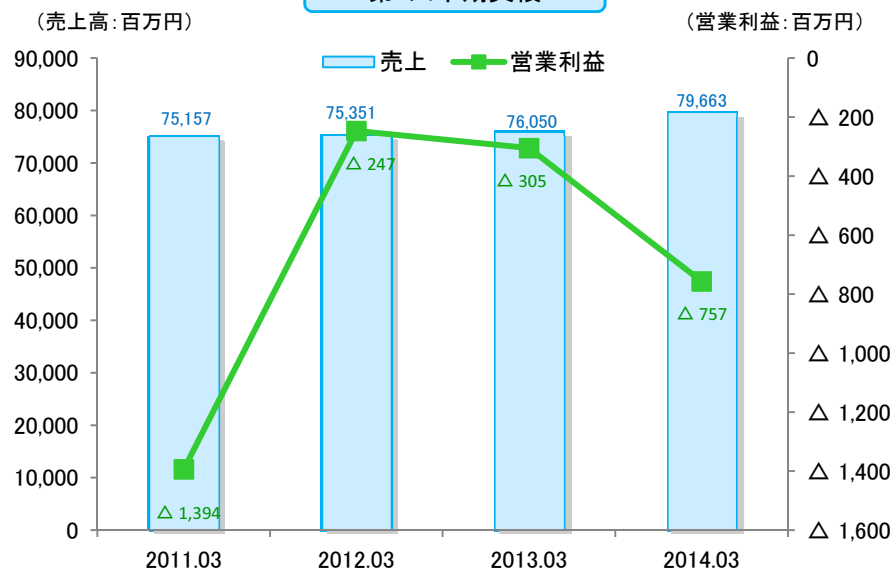


※オペレーティング・セグメント情報のセグメント別売上高と、当資料P.23の品種別の売上高の数値とは一致しません。
 ※各セグメントの売上高はセグメント間の内部売上高が含まれています。
 ※過年度の各セグメントの実績は、一部の子会社の管轄事業部を変更したため、組替再表示を行なっております。

3. オペレーティング・セグメント情報 加工事業本部①

Copyright (C) 2014 Nippon Meat Packers, Inc. All rights reserved.

第4四半期実績



(単位: 百万円, %)

	2013.03 4Q	2014.03 4Q	前年差	前年比
売上高計	76,050	79,663	3,613	4.8
営業利益	△ 305	△ 757	△ 452	-
営業利益率	△ 0.4%	△ 1.0%	-	-

【第4四半期の状況】

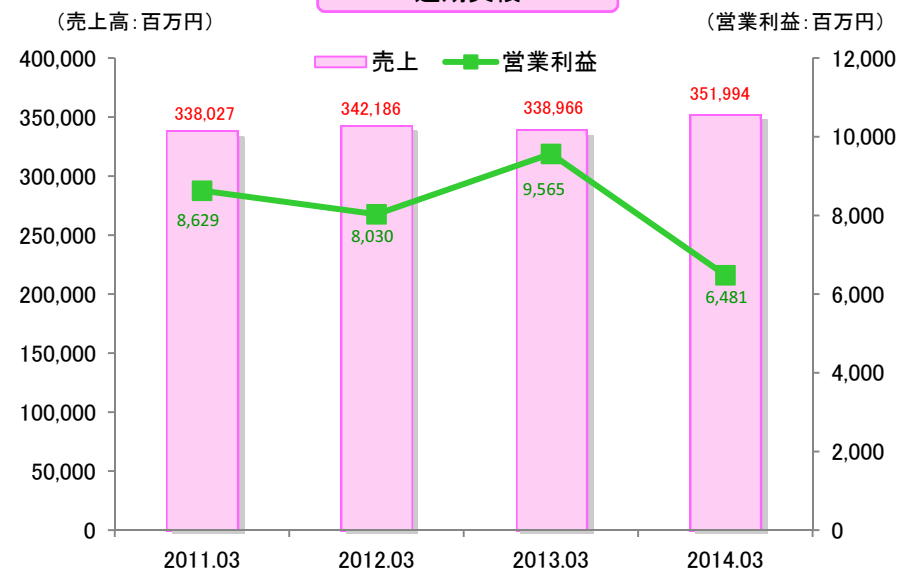
(売上高)

- ・ハム・ソーセージ、加工食品ともに
コンシューマ商品が堅調に推移し、
増収。

(営業利益)

- ・価格改定、コスト削減を進めたが、
原材料・資材燃料高により、減益。

通期実績



(単位: 百万円, %)

	2013.03 通期	2014.03 通期	前年差	前年比
売上高計	338,966	351,994	13,028	3.8
営業利益	9,565	6,481	△ 3,084	△ 32.2
営業利益率	2.8%	1.8%	-	-

【通期の状況】

(売上高)

- ・ハム・ソーセージは主カブランドである『シャウエッセン』やギフトの旗艦ブランド『美ノ国』を中心に拡販し増収。
加工食品は『石窯工房』や『ハンバーグ・ミートボール群』等が売上げに寄与し、増収。

(営業利益)

- ・価格改定は計画通り進捗し、コスト削減も進めたが、原材料・資材燃料高の影響が大きく、減益。

3. オペレーティング・セグメント情報 加工事業本部②

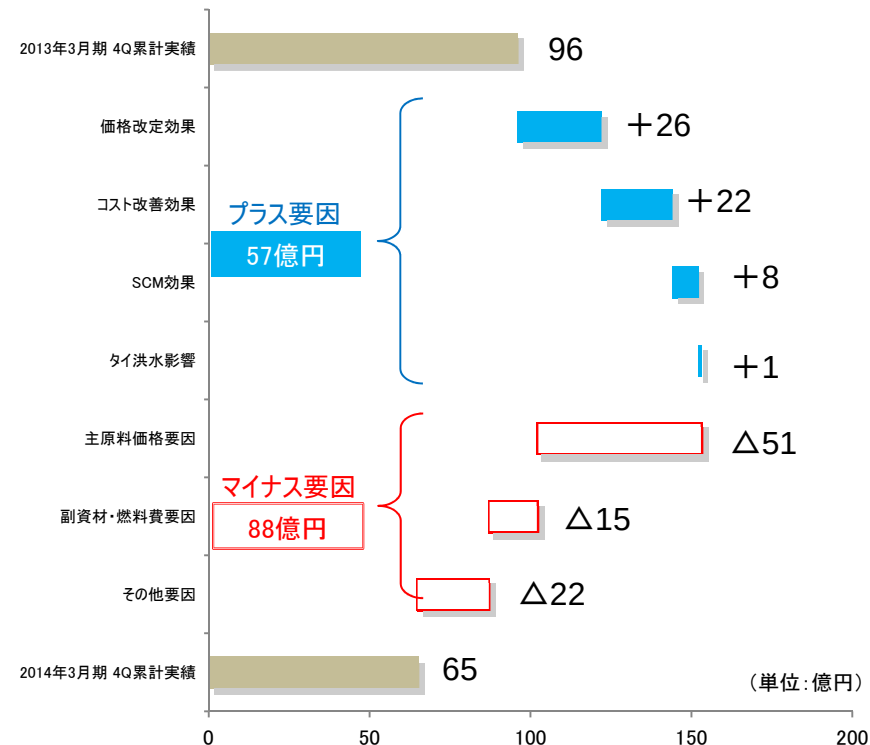
Copyright (C) 2014 Nippon Meat Packers, Inc. All rights reserved.

【営業利益増減要因分析】

	2014.03 通期 計画と実績				
	3Q累計 実績	4Q 実績	通期 計画	通期 実績	計画 差異
価格改定効果	17億円	9億円	26億円	26億円	0億円
コスト改善効果	16億円	6億円	27億円	22億円	△5億円
SCM効果	5億円	3億円	7億円	8億円	1億円
タイ洪水影響	1億円	0億円	1億円	1億円	0億円
主原料・副資材要因	△45億円	△21億円	△66億円	△66億円	0億円
（内訳）主原料価格	（△34億円）	（△17億円）	（△48億円）	（△51億円）	（△3億円）
（内訳）副資材・燃料等	（△11億円）	（△4億円）	（△18億円）	（△15億円）	（3億円）
その他要因	△21億円	△1億円	△19億円	△22億円	△3億円
（内訳）海外製造品影響	（△12億円）	（0億円）	（△12億円）	（△12億円）	（0億円）
合計	△27億円	△4億円	△24億円	△31億円	△7億円

※四捨五入表記のため、数値の和・差と合計が一致しない場合がございます。

【通期実績の増減要因グラフ】



●計画差異要因分析（通期）

【コスト改善効果】

⇒ハム・ソーセージ、加工食品の販売数量減に伴う、コスト改善効果の低下。

【その他要因】

⇒円安の影響に伴う、海外製造品の利益率悪化。（1Q：△9億円、2Q：△3億円）

3. オペレーティング・セグメント情報 加工事業本部③

Copyright (C) 2014 Nippon Meat Packers, Inc. All rights reserved.

●ギフト売上実績

- ・2014年3月期の実績は、
前年個数比：約99%
- ・『美ノ国』ギフトは、
前年個数比：約111%
(構成比は、約17%)

(参考) 2013年 市場データ (個数) ※当社調べ
 ・ギフト市場全体 前年割れ
 ・ハム・ソーセージギフト市場 前年割れ

【(参考)ギフト販売個数 実績】

(単位: 千個)

		2013.03 実績	2014.03 実績	
		個数	個数	前年比
中元	全体販売個数	2,026	2,075	102%
	(うち美ノ国)	315	378	120%
歳暮	全体販売個数	4,759	4,675	98%
	(うち美ノ国)	727	780	107%
合計	全体販売個数	6,785	6,750	99%
	(うち美ノ国)	1,042	1,158	111%
	(構成比)	15%	17%	

●主要ブランド売上実績

【(参考)主要ブランド商品売上高実績(対前年同期比)】



『シャウエッセン』



『石窯工房マルゲリータ』

ハム・ソーセージ	2014.03 実績			加工食品	2014.03 実績		
	上期	下期	通期		上期	下期	通期
シャウエッセン	101%	109%	105%	石窯工房群	104%	96%	100%
森の薫り新あらびきウインナー	83%	94%	88%	中華名菜群	104%	97%	100%
ローズハム群	97%	95%	96%	プリフライ群	93%	97%	95%
ベーコン群	104%	109%	106%	ハンバーグ・ミートボール群	124%	110%	116%
焼豚群	108%	93%	100%	カレー群	109%	113%	111%

●チャネル別売上実績

①コンシューマ商品

ハム・ソーセージ、加工食品とも堅調に推移。

②業務用商品

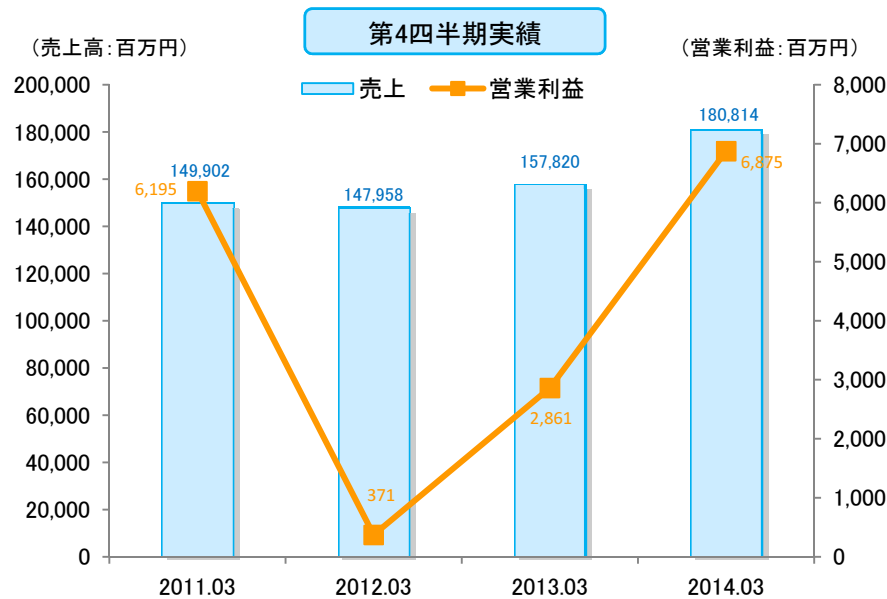
CVS向けを中心に、ハム・ソーセージ、加工食品ともに堅調に推移。

【(参考)2014年3月期通期 チャネル別伸び率(対前年同期比)】

		数量	金額
ハム・ソーセージ	コンシューマ	101%	104%
	業務用	100%	101%
	合計	100%	103%
加工食品	コンシューマ	99%	102%
	業務用	101%	103%
	合計	100%	102%

4. オペレーティング・セグメント情報 食肉事業本部①

Copyright (C) 2014 Nippon Meat Packers, Inc. All rights reserved.



(単位: 百万円, %)

	2013.03 4Q	2014.03 4Q	前年差	前年比
売上高計	157,820	180,814	22,994	14.6
営業利益	2,861	6,875	4,014	140.3
営業利益率	1.8%	3.8%	-	-

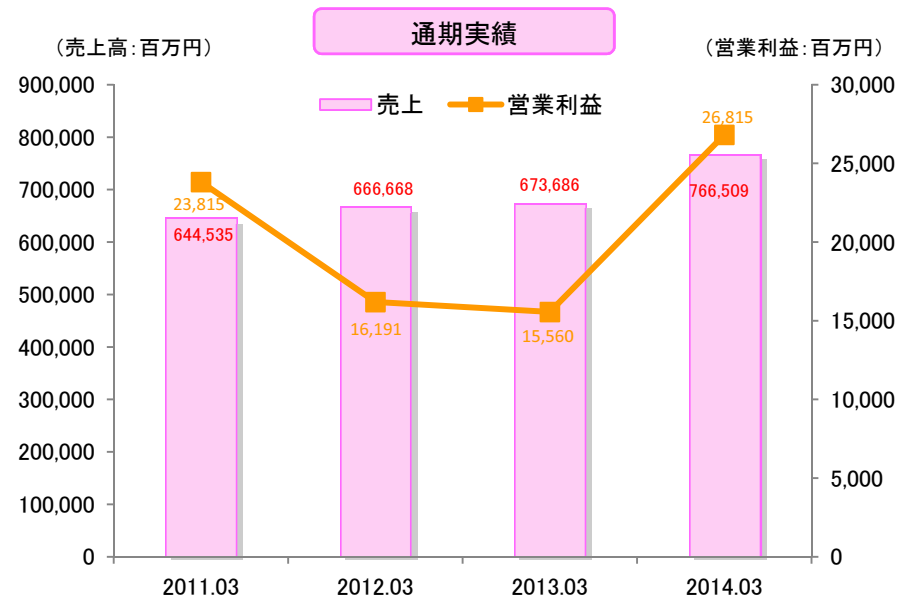
【第4四半期の状況】

(売上高)

- ・ 堅調な国内食肉相場による販売価格上昇で、増収。

(営業利益)

- ・ 国内は、堅調な食肉相場により、ファーム事業が好調に推移。
- ・ 海外は、米州・豪州事業ともに改善し増益。



(単位: 百万円, %)

	2013.03 通期	2014.03 通期	前年差	前年比
売上高計	673,686	766,509	92,823	13.8
営業利益	15,560	26,815	11,255	72.3
営業利益率	2.3%	3.5%	-	-

【通期の状況】

(売上高)

- ・ 豪州の牛肉において、『ワイアリーフ』に注力し数量・金額ともに伸長。国内においては国内食肉相場の回復により販売単価が上昇し、増収。

(営業利益)

- ・ 相場上昇による国内ファーム事業の改善と、豪州事業の大幅改善で、増益。

4. オペレーティング・セグメント情報 食肉事業本部②

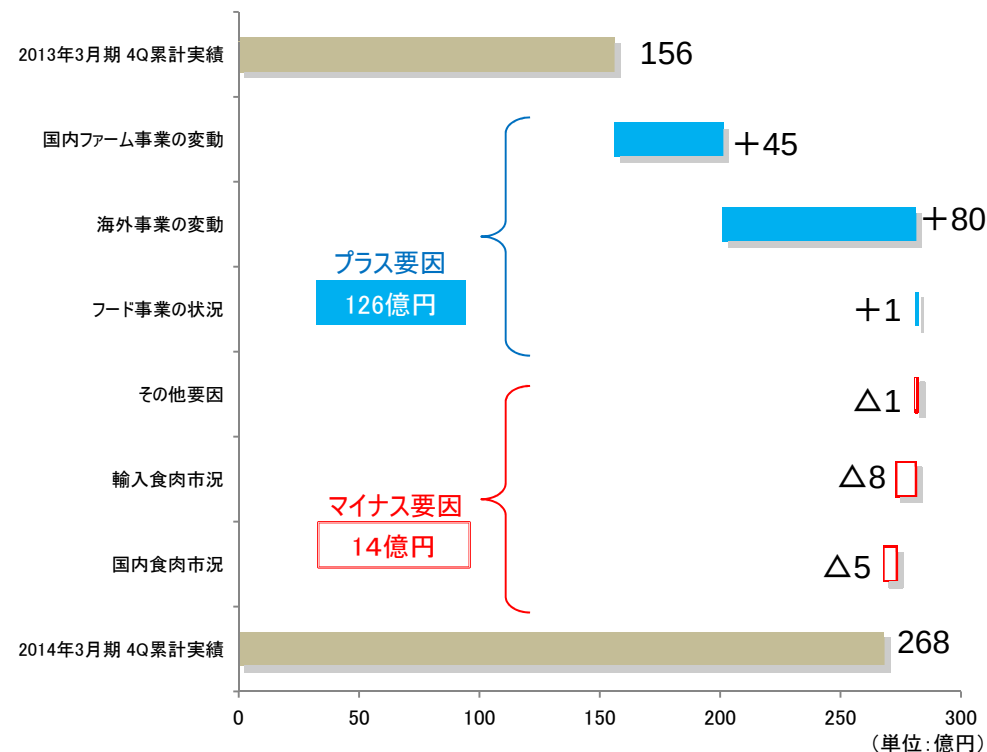
Copyright (C) 2014 Nippon Meat Packers, Inc. All rights reserved.

【営業利益増減要因分析】

	2014.03 通期 計画と実績				
	3Q累計実績	4Q実績	通期計画	通期実績	計画差異
国内ファーム事業の変動	29億円	16億円	36億円	45億円	9億円
海外事業の変動	48億円	32億円	64億円	80億円	16億円
輸入食肉市況	0億円	△8億円	△6億円	△8億円	△2億円
国内食肉市況	△2億円	△3億円	△6億円	△5億円	1億円
フード事業の状況	△4億円	5億円	0億円	1億円	1億円
その他要因	1億円	△2億円	1億円	△1億円	△2億円
合計	72億円	40億円	89億円	112億円	23億円

※四捨五入表記のため、数値の和・差と合計が一致しない場合がございます。

【通期実績の増減要因グラフ】



●計画差異要因分析（通期）

【国内ファーム事業の変動】

⇒生産性の向上と国内食肉相場の上昇に伴い、生産事業において大幅に業績が改善。

【海外事業の変動】

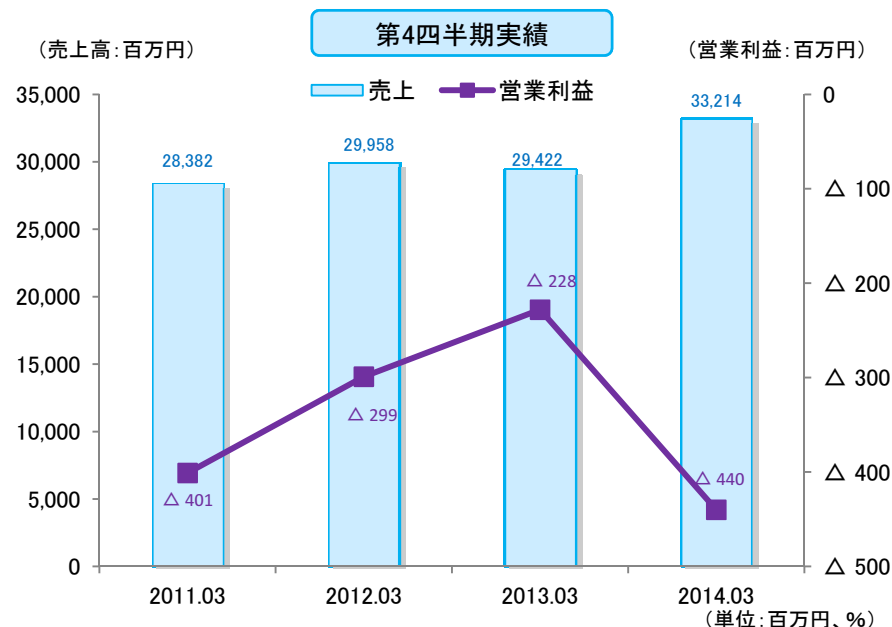
⇒前期からの取組みによる、豪州事業の劇的な改善。（豪州事業通期実績前期差 +71億円）

【フード事業の状況】

⇒販売経路、特に外食チャネルを拡大し、収益力が改善。

5. オペレーティング・セグメント情報 関連企業本部

Copyright (C) 2014 Nippon Meat Packers, Inc. All rights reserved.



	2013.03 4Q	2014.03 4Q	前年差	前年比
売上高計	29,422	33,214	3,792	12.9
営業利益	△ 228	△ 440	△ 212	-
営業利益率	△ 0.8%	△ 1.3%	-	-

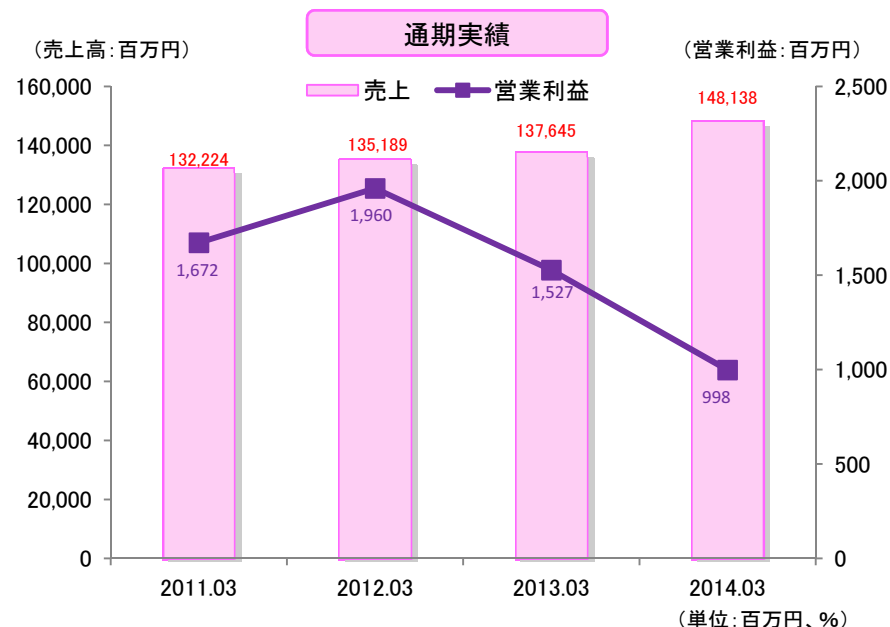
【第4四半期の状況】

(売上高)

- ・水産事業は、取扱魚種の相場上昇と釧路丸水(株)のグループ入りも加わり、増収。
- ・乳製品事業は、設備投資をしたドリンクヨーグルトが堅調であり、チーズにおいてもコンシューマ向け、業務用ともに堅調に推移し、増収。

(営業利益)

- ・水産事業は相場上昇に対し価格改定が十分でなく、苦戦。
- ・乳製品事業は、原料の高騰に対し価格改定が遅れ、減益。



	2013.03 通期	2014.03 通期	前年差	前年比
売上高計	137,645	148,138	10,493	7.6
営業利益	1,527	998	△ 529	△ 34.6
営業利益率	1.1%	0.7%	-	-

【通期の状況】

(売上高)

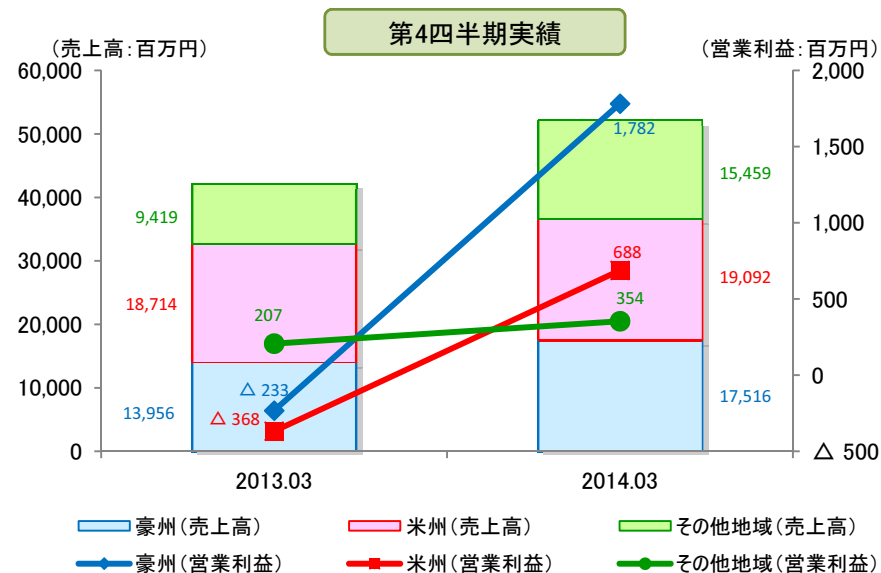
- ・水産事業は、量販や外食チャネルにおいて提案営業を強化し、増収。
- ・乳製品事業は、ヨーグルトの売り上げが前年並みとなったが、チーズの主要チャネルである製パン、外食、食品メーカーへの取組みを強化し増収。

(営業利益)

- ・水産事業は、年末商戦が好調だったことや前期のチリ産銀鮭等の逆ザヤ販売が解消されたため、増益。
- ・乳製品事業は、原料価格の高騰に対し価格改定が遅れ、減益。

6. 海外 主要所在地別 業績

Copyright (C) 2014 Nippon Meat Packers, Inc. All rights reserved.



(単位: 百万円)

		2013.03 4Q	2014.03 4Q	前年差	前年比(%)
海外計	売上高	41,163	50,883	9,720	23.6
	営業利益	△ 396	2,820	3,216	-
豪州	売上高	13,956	17,516	3,560	25.5
	営業利益	△ 233	1,782	2,015	-
米州	売上高	18,714	19,092	378	2.0
	営業利益	△ 368	688	1,056	-
その他地域	売上高	9,419	15,459	6,040	64.1
	営業利益	207	354	147	71.0

※売上金額は、セグメント間の内部売上高を消去する前の金額です。(セグメント間取引の消去があるため、海外計は各地域の合計とは一致しません)

※米州には、北米と南米の事業が含まれます。また、その他地域は、アジア、欧州です。

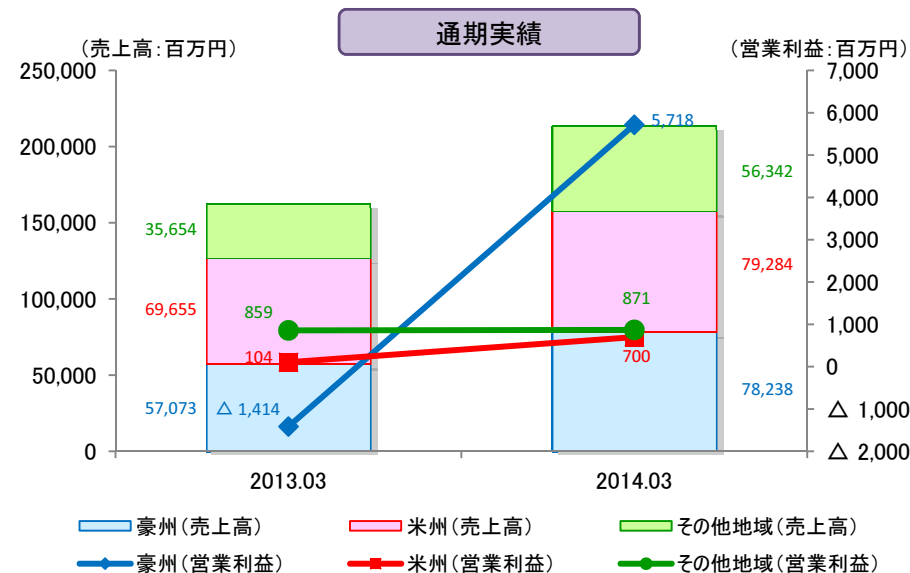
【第4四半期の状況】

(豪州)

- ・牛の生体仕入価格は上昇してきたものの、販売伸長等で、増収・増益。

(米州)

- ・米州全体では利益は改善傾向。



(単位: 百万円)

		2013.03 通期	2014.03 通期	前年差	前年比(%)
海外計	売上高	158,873	209,188	50,315	31.7
	営業利益	△ 474	7,257	7,731	-
豪州	売上高	57,073	78,238	21,165	37.1
	営業利益	△ 1,414	5,718	7,132	-
米州	売上高	69,655	79,284	9,629	13.8
	営業利益	104	700	596	573.1
その他地域	売上高	35,654	56,342	20,688	58.0
	営業利益	859	871	12	1.4

【通期の状況】

(豪州)

- ・米国、アジア、中国への販売が伸長したことに加え、牛生体仕入れコストの低下、生産性の改善等で増収・増益。

(米州)

- ・上期における輸出事業の利益圧迫があったものの、下期相場の高騰により養豚事業の利益改善等で増収・増益。

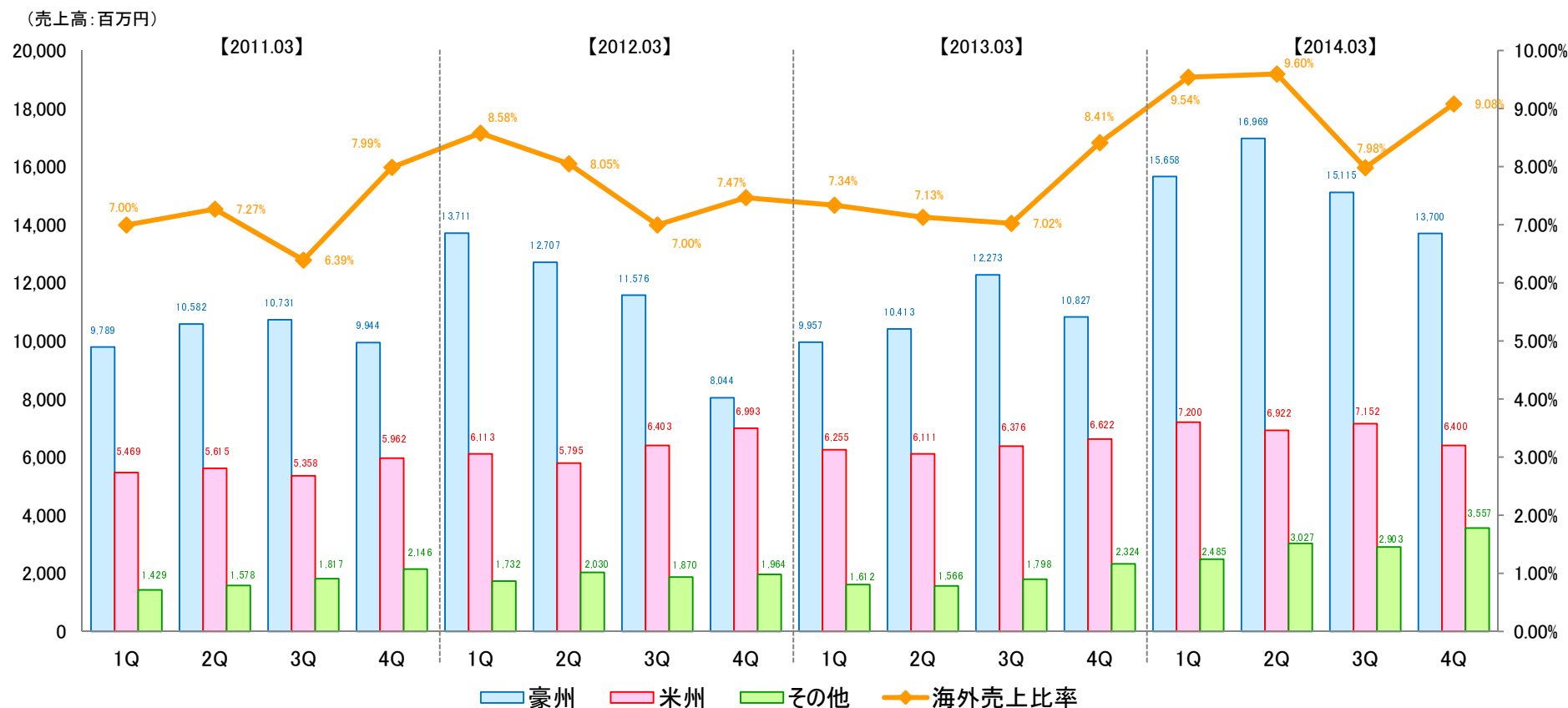
7. 海外 主要所在地別 外部顧客売上高実績

Copyright (C) 2014 Nippon Meat Packers, Inc. All rights reserved.

(単位: 百万円)

	2011.03	2012.03	2013.03					2014.03				
	通期	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
豪州	41,046	46,038	9,957	10,413	12,273	10,827	43,470	15,658	16,969	15,115	13,700	61,442
米州	22,404	25,304	6,255	6,111	6,376	6,622	25,364	7,200	6,922	7,152	6,400	27,674
その他	6,970	7,596	1,612	1,566	1,798	2,324	7,300	2,485	3,027	2,903	3,557	11,972
海外計	70,420	78,938	17,824	18,090	20,447	19,773	76,134	25,343	26,918	25,170	23,657	101,088
海外売上比率	7.12%	7.76%	7.34%	7.13%	7.02%	8.41%	7.44%	9.54%	9.60%	7.98%	9.08%	9.01%

※売上金額は、外部顧客に対する売上高です。

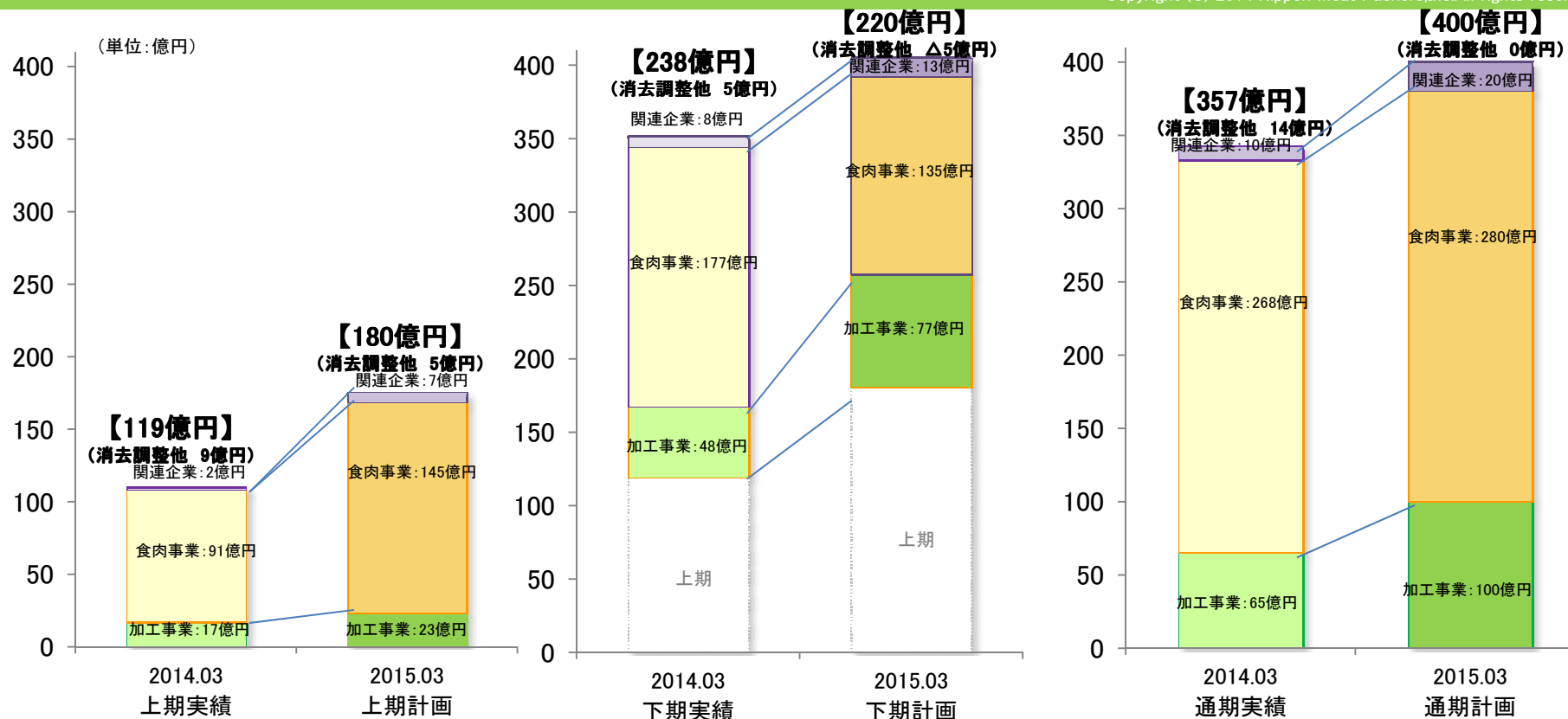


Ⅱ．2015年3月期の見通し

- 1. 2015年3月期 営業利益計画**
- 2. 2015年3月期計画(加工事業本部)**
- 3. 2015年3月期計画(食肉事業本部)**
- 4. 2015年3月期計画(関連企業本部)**

1. 2015年3月期 営業利益計画

Copyright (C) 2014 Nippon Meat Packers, Inc. All rights reserved.



	2015.03 上期計画			2015.03 下期計画			2015.03 通期計画		
	2014.03 上期実績		増減	2014.03 下期実績		増減	2014.03 通期実績		増減
加工事業本部	17億円	23億円	6億円	48億円	77億円	29億円	65億円	100億円	35億円
食肉事業本部	91億円	145億円	54億円	177億円	135億円	△42億円	268億円	280億円	12億円
関連企業本部	2億円	7億円	5億円	8億円	13億円	5億円	10億円	20億円	10億円
消去調整他	9億円	5億円	△4億円	5億円	△5億円	△10億円	14億円	0億円	△14億円
合計	119億円	180億円	61億円	238億円	220億円	△18億円	357億円	400億円	43億円

※四捨五入表記のため、数値の和・差と合計が一致しない場合がございます。
 ※2015年3月期の計画に関しては現時点での見込みであり、環境の変化等によって変更する可能性があります。

2. 2015年3月期計画(加工事業本部①)

Copyright (C) 2014 Nippon Meat Packers, Inc. All rights reserved.

●トピックス (通期)

【原料・資材価格の上昇による営業利益への影響】

⇒原料・副資材、燃料等の高騰影響は、約54億円を見込む。コストダウン、価格改定施策等でカバー。

【コスト改善効果、価格改定効果】

⇒2014年7月より、シャウエッセンを除くコンシューマ主力商品を中心に価格改定を実施予定。

【営業利益増減要因分析】

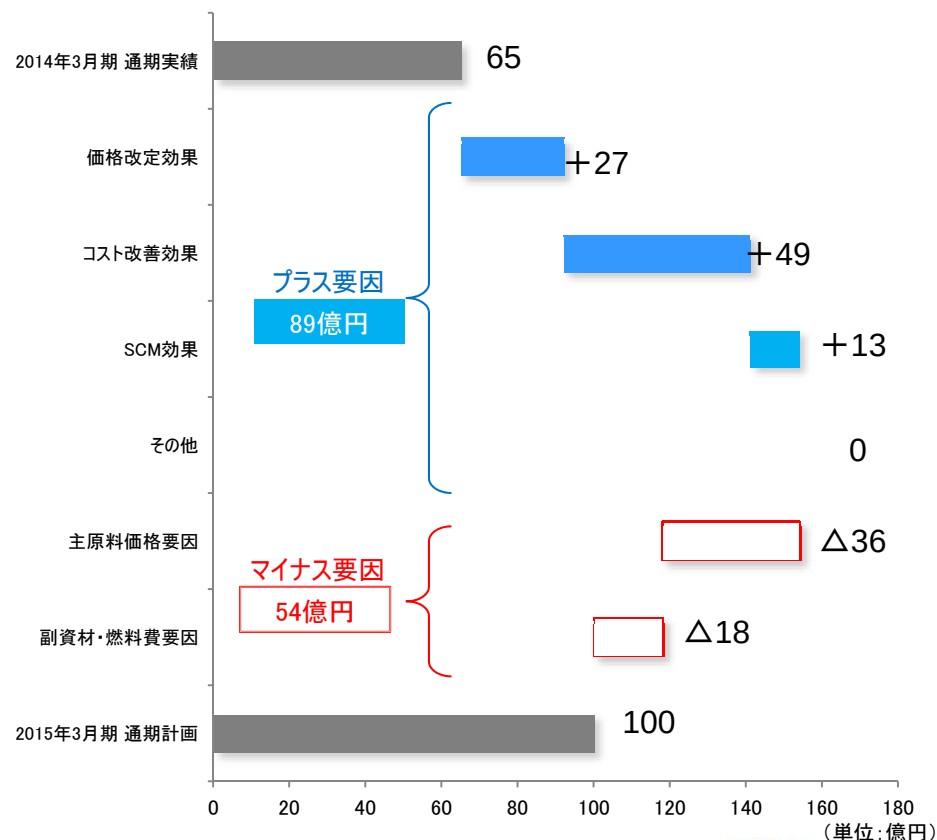
	2015.03 計画				
	1Q 計画	2Q 計画	3Q 計画	4Q 計画	通期累計 実績
価格改定効果 注)	9億円	6億円	6億円	6億円	27億円
コスト改善効果	10億円	12億円	17億円	10億円	49億円
SCM効果	3億円	4億円	3億円	3億円	13億円
主原料・副資材要因	△22億円	△16億円	△10億円	△6億円	△54億円
(内訳)主原料価格	(△16億円)	(△10億円)	(△6億円)	(△4億円)	(△36億円)
(内訳)副資材・燃料等	(△6億円)	(△6億円)	(△4億円)	(△2億円)	(△18億円)
その他	0億円	0億円	0億円	0億円	0億円
合計	0億円	6億円	16億円	13億円	35億円

注) 価格改定効果については、1Qまでは2013年7月改定分、2Q以降は2014年7月改定予定分となります。

※四捨五入表記のため、数値の和・差と合計が一致しない場合がございます。

※2015年3月期の計画に関しては現時点での見込みであり、環境の変化等によって変更する可能性があります。

【通期計画の増減要因グラフ】



2. 2015年3月期計画(加工事業本部②)

Copyright (C) 2014 Nippon Meat Packers, Inc. All rights reserved.

●ギフト売上拡大施策

- ・中元、歳暮ギフトともに103%を目標。
(前年比、個数ベース)
- ・旗艦ブランドの『美ノ国』を中心に、販促展開。
(TVCM、雑誌広告)

(参考)

- ・フラッグシップの『美ノ国』は前年比120%以上を目指す。

【(参考)ギフト販売個数 実績と2015年3月期販売計画】 (単位:千個)

	2014.03 実績		2015.03 計画	
	個数	前年比	個数	前年比
中元ギフト販売個数	2,075	102%	2,138	103%
歳暮ギフト販売個数	4,675	98%	4,816	103%
合計	6,750	99%	6,954	103%

●主要ブランド・新商品売上拡大施策

①ハム・ソーセージ

- ・30周年を迎える『シャウエッセン』を徹底的に販売強化し、決定的な優位性を確立する。

②加工食品

- ・『石窯工房』『中華名菜』等、主力商品を集中的に拡販を図る。



【(参考)主要ブランド商品 売上高実績と計画(対前年同期比)】

ハム・ソーセージ	2015.03 通期計画	加工食品	2015.03 通期計画
シャウエッセン	108%	石窯工房群	102%
森の薫り新あらびきウインナー	100%	中華名菜群	102%
ロースハム群	101%	グリフライ群	100%
ベーコン群	101%	ハンバーグ・ミートボール群	102%
焼豚群	100%	カレー群	102%

●チャネル別売上拡大施策

①コンシューマ

- ・ハム・ソーセージ、加工食品ともに、商品の集中販売により拡大を図る。

②業務用

- ・CVS、外食を中心にアイテムを拡大し、販売強化を図る。

【(参考)チャネル別 売上高伸び率(対前年同期比)】

2015.03 通期計画		金額
ハム・ソーセージ	コンシューマ	103%
	業務用	103%
	合計	103%
加工食品	コンシューマ	103%
	業務用	103%
	合計	103%

3. 2015年3月期計画(食肉事業本部①)

Copyright (C) 2014 Nippon Meat Packers, Inc. All rights reserved.

●トピックス(通期)

【国内生産】川上事業の構造改革を行うとともに、生産コストの改善等によりコスト競争力アップ。

【輸入食肉】売上数量の拡大(昨年比105%)とともに、ブランド戦略により収益構造の改善。

【海外事業】拠点連携と拠点市場開発の強化。新規事業、新規拠点を展開。

【フード事業】インテグレーション商品、ブランド商品の拡販によるシェア及び収益拡大。

【国内食肉】売上数量拡大と調達力の強化。

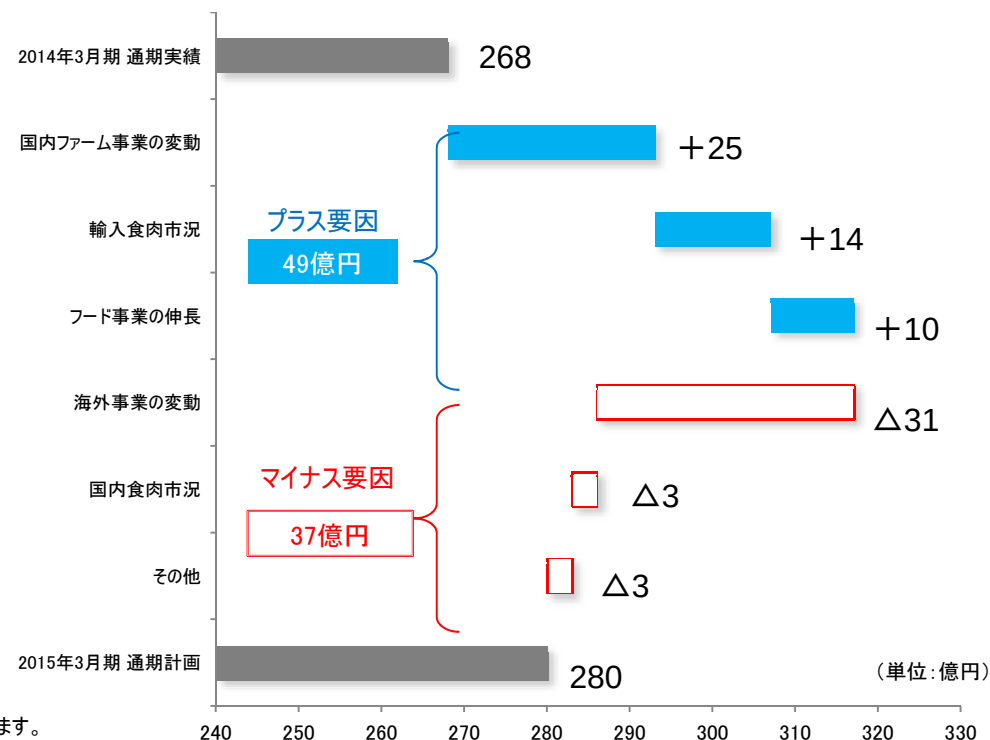
【営業利益増減要因分析】

	2015.03 計画				
	1Q 計画	2Q 計画	3Q 計画	4Q 計画	通期 計画
国内ファーム事業の変動	17億円	13億円	△2億円	△3億円	25億円
輸入食肉市況	△1億円	11億円	2億円	2億円	14億円
海外事業の変動(豪州、米州)	16億円	△9億円	△12億円	△26億円	△31億円
フード事業の伸長	4億円	3億円	2億円	1億円	10億円
国内食肉市況	0億円	0億円	△1億円	△2億円	△3億円
その他	0億円	0億円	△2億円	△1億円	△3億円
合計	36億円	18億円	△13億円	△29億円	12億円

※四捨五入表記のため、数値の和・差と合計が一致しない場合がございます。

※2015年3月期の計画に関しては現時点での見込みであり、環境の変化等によって変更する可能性があります。

【通期計画の増減要因グラフ】



●国内生産事業

①飼料価格

- ・海外のトウモロコシ価格は落ち着いてきたが、円安の影響もあり今期も高値で推移する見通し。

②国内ファーム事業

- ・豚肉相場は、海外現地価格高と輸入豚肉の数量減により、国内豚肉への需要が高まり、高値で推移。
- ・鶏肉相場は、輸入量も在庫量も前年を下回り、豚肉の高騰も影響して、高値安定で推移する見通し。

●海外事業

①豪州

- ・原価低減による利益率の改善と、ブランド商品の拡販を図る。
- ・ASEAN、中国、ロシア、中東に対し、豪州産牛肉販売を強化。

②米州

- ・米州のPEDは2月をピークに治まってきているが豚枝肉相場は急騰。相場が前年より高値で推移する見通し。

③その他(欧州・アジア)

- ・欧州は、日本向けに「デンマーク」、「ドイツ」、「イタリア」、「スペイン」産の豚肉を販売強化。

【(参考) 2014.03 通期 豪州事業販売実績】

主な販売先国	数量構成比	数量(昨年比)
日本	21%	100%
米国	18%	139%
韓国	11%	127%
中国	10%	197%
台湾	5%	97%
豪州国内	24%	109%
その他※	11%	135%
合計	100%	120%

※その他・・・ロシア、EU、インドネシア・・・等

●国内食肉、輸入食肉、食肉販売(フード会社)

- ・数量拡大⇒昨年比105%を目指す。
- ・『ワイアリーフ』、『けんこう豚』、『桜姫』などのブランド食肉の販売を強化し収益構造を改善。



●水産事業の売上拡大施策

(マリンフーズ)

- ・顧客視点に基づく自社商品の開発とメニュー提案等の店頭販促の強化。
- ・主力商材については供給部門と営業部門が一体となってシェア拡大を図る。
- ・釧路丸水(株)の強みを活かし、北海道産原料を活用した商品の製造・販売を強化。

(宝幸)

- ・常温食品事業(缶詰)は、商品開発・販売促進を強化し、八戸工場製品の拡販を図る。



(写真)野菜とあえる珍味シリーズ
『塩麴サーモン』



(写真)釧路丸水(株)
『旨味たこ』

●乳製品事業の売上拡大施策

(チーズ)

- ・ベビーチーズのアイテムを拡充し、コンシューマ商品拡販を図る。
- ・得意先に対するきめ細かい提案を強化し、業務用チャネルの売上伸長を図る。

(ヨーグルト)

- ・提案営業による特徴ある高付加価値商品の導入。
- ・CVS向けPB商品の開発と拡販。

●主原料・副資材価格の動向

- ・チーズ原料は、世界的なチーズ需要の拡大により高止まり。
- ・ヨーグルト原料も、国内の生産量減少や、海外需要の伸びにより、高止まりを見込む。



(写真)日本ルナ「アサイー
ミックスドリンクヨーグルト」



(写真)ロール「おとなの
ベビーチーズ(梅しそ味)」

Ⅲ. 2014年3月期 期末財務データ

- 1. 2014年3月期連結業績概要及び2015年3月期計画**
- 2. 連結売上区分伸び率、所在地別セグメント情報**
- 3. 販管費、その他の営業費用、その他の収益**
- 4. 連結貸借対照表の主な項目、設備投資額、減価償却費**
- 5. 連結キャッシュ・フロー**

1. 2014年3月期連結業績概要及び2015年3月期計画

Copyright (C) 2014 Nippon Meat Packers, Inc. All rights reserved.

(単位: 百万円、%)

《連結業績》	2014年3月期実績						2015年3月期計画					
	上期 実績	前年比	下期 実績	前年比	通期 実績	前年比	上期 計画	前年比	下期 計画	前年比	通期 計画	前年比
売上高	546,191	10.0	575,906	9.5	1,122,097	9.7	555,000	1.6	585,000	1.6	1,140,000	1.6
ハム・ソーセージ	67,393	0.1	76,097	4.7	143,490	2.5	69,500	3.1	77,500	1.8	147,000	2.4
加工食品	102,695	2.2	105,389	1.0	208,084	1.6	104,000	1.3	107,000	1.5	211,000	1.4
食肉	304,067	15.5	315,266	13.2	619,333	14.4	312,000	2.6	323,000	2.5	635,000	2.5
牛肉	125,741	26.9	123,844	17.1	249,585	21.8	126,500	0.6	125,000	0.9	251,500	0.8
豚肉	107,240	8.6	111,048	9.3	218,288	9.0	111,000	3.5	115,500	4.0	226,500	3.8
鶏肉	60,921	9.4	70,471	13.3	131,392	11.5	64,000	5.1	72,000	2.2	136,000	3.5
その他食肉	10,165	5.0	9,903	11.6	20,068	8.1	10,500	3.3	10,500	6.0	21,000	4.6
水産	43,040	7.1	48,769	11.8	91,809	9.5	43,000	△ 0.1	49,000	0.5	92,000	0.2
乳製品	13,242	3.7	13,011	5.0	26,253	4.4	13,500	1.9	13,500	3.8	27,000	2.8
その他	15,754	23.0	17,374	17.8	33,128	20.2	13,000	△ 17.5	15,000	△ 13.7	28,000	△ 15.5
売上原価	451,165	11.5	467,139	10.6	918,304	11.0						
売上総利益	95,026	3.2	108,767	4.9	203,793	4.1						
売上総利益率	17.4%	—	18.9%	—	18.2%	—						
販売費及び一般管理費	83,091	1.0	85,002	△ 0.6	168,093	0.2						
営業利益	11,935	21.3	23,765	30.7	35,700	27.4	18,000	50.8	22,000	△ 7.4	40,000	12.0
税引前利益	10,689	34.5	24,614	22.5	35,303	25.9	16,600	55.3	20,400	△ 17.1	37,000	4.8
当社株主帰属当期純利益	7,620	96.3	16,904	34.4	24,524	49.0	11,000	44.4	13,000	△ 23.1	24,000	△ 2.1

* 米国会計基準を組替えて表示しております。

* 前年比は、対前年増減率で表示しております。

2. 連結売上区分別伸び率、所在地別セグメント情報

Copyright (C) 2014 Nippon Meat Packers, Inc. All rights reserved.

【連結売上区分別伸び率】

(単位: %)

区分	2013年3月期 (対 2012年3月期比)				2014年3月期 (対 2013年3月期比)			
	4Q		通期		4Q		通期	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額
ハム・ソーセージ	△ 4.2	0.0	2.6	1.9	9.0	8.8	0.2	2.5
加工食品	△ 1.5	△ 0.5	0.5	0.8	0.8	2.8	△ 0.2	1.6
食肉	0.8	5.9	2.1	△ 0.5	△ 1.9	14.0	△ 0.4	14.4
牛肉	8.0	13.9	△ 1.5	3.7	2.3	16.8	8.4	21.8
豚肉	△ 3.3	△ 0.4	0.8	△ 0.6	△ 7.6	10.4	△ 4.8	9.0
鶏肉	2.8	7.8	7.9	△ 4.1	1.3	14.0	△ 1.2	11.5
その他食肉	△ 20.5	△ 14.3	△ 11.3	△ 16.1	11.7	25.8	△ 4.0	8.1

【所在地別セグメント状況】

(単位: 百万円、%)

	2014年3月期実績			2015年3月期計画					
	上期 実績	下期 実績	通期 実績	上期 計画	前年比	下期 計画	前年比	通期 計画	前年比
国内売上高	494,479	527,543	1,022,022	501,600	1.4	536,000	1.6	1,037,600	1.5
外部顧客売上高	493,930	527,079	1,021,009	501,000	1.4	535,500	1.6	1,036,500	1.5
セグメント間内部売上高	549	464	1,013	600	9.3	500	7.8	1,100	8.6
国内営業利益	9,187	19,317	28,504	14,200	54.6	21,200	9.7	35,400	24.2
国内売上高営業利益率	1.9%	3.7%	2.8%	2.8%	-	4.0%	-	3.4%	-
海外売上高	105,424	103,764	209,188	108,000	2.4	104,500	0.7	212,500	1.6
外部顧客売上高	52,261	48,827	101,088	54,000	3.3	49,500	1.4	103,500	2.4
セグメント間内部売上高	53,163	54,937	108,100	54,000	1.6	55,000	0.1	109,000	0.8
海外営業利益	2,765	4,492	7,257	3,800	37.4	800	△ 82.2	4,600	△ 36.6
海外売上高営業利益率	2.6%	4.3%	3.5%	3.5%	-	0.8%	-	2.2%	-

* 所在地別セグメント状況の売上金額は、セグメント間の内部売上高を消去する前の金額です。

* 前年比は、対前年増減率で表示しております。

3. 販管費、その他の営業費用、その他の収益

Copyright (C) 2014 Nippon Meat Packers, Inc. All rights reserved.

(単位: 百万円、%)

	《販管費》	2013年3月期 通期実績	2014年3月期	
			通期実績	対前年増減率
★①	販売費及び一般管理費	167,760	168,093	0.2
	人件費	66,148	65,315	△ 1.3
	広告宣伝費	10,482	11,221	7.1
★②	物流費	40,482	41,465	2.4
	その他	50,648	50,092	△ 1.1
				対前年増減額
				333
				△ 833
				739
				983
				△ 556

主な増減要因

★① 販管費 売上高販管費率は16.4%から15.0%へと1.4ポイント低下。

★② 物流費 運賃11億円増加、冷蔵費微減。

(単位: 百万円、%)

	2013年3月期 通期実績	2014年3月期	
		通期実績	対前年増減額
その他の営業費用及び(△収益)－純額	131	686	555
固定資産関連	3	543	540
その他	128	143	15
その他の収益及び(△費用)－純額	1,723	1,791	68
受取利息・配当金	988	1,095	107
為替差損益	841	1,063	222
その他	△ 106	△ 367	△ 261
支払利息	1,582	1,502	△ 80

4. 連結貸借対照表の主な項目、設備投資額、減価償却費

Copyright (C) 2014 Nippon Meat Packers, Inc. All rights reserved.

(単位: 百万円、%)

	《連結貸借対照表》	2013年3月期 期末実績	2014年3月期 期末実績	対前期末 増減率	対前期末 増減額
★①	資産合計	610,293	627,220	2.8	16,927
	現金及び現金同等物	36,475	42,983	17.8	6,508
★②	売上債権	123,972	118,141	△ 4.7	△ 5,831
★③	棚卸資産	113,187	122,115	7.9	8,928
	有形固定資産	224,785	236,669	5.3	11,884
	投資及びその他の資産	30,685	34,267	11.7	3,582
	長期繰延税金資産	12,531	10,091	△ 19.5	△ 2,440
	負債合計	314,209	303,245	△ 3.5	△ 10,964
	支払手形及び買掛金	102,148	97,353	△ 4.7	△ 4,795
★④	有利子負債	149,821	144,963	△ 3.2	△ 4,858
	退職金及び年金債務	15,005	12,584	△ 16.1	△ 2,421
	当社株主資本	293,414	320,984	9.4	27,570
	非支配持分	2,670	2,991	12.0	321
	資本合計	296,084	323,975	9.4	27,891

主な増減要因

- ★① 資産合計 総資産は前期末に比べて169億円増加。(2.8%増)
- ★② 売上債権 前期末日が休日であったため△58億円。
- ★③ 棚卸資産 主に食肉の増加により前期末比、約89億円の増加。
- ★④ 有利子負債 借入金返済により約49億円の減少。

(単位: 百万円、%)

《設備投資額、減価償却費》	2013年3月期 通期実績	通期計画	2014年3月期			2015年3月期 通期計画
			通期実績	対前年増減率	対前年増減額	
設備投資額	33,285	32,000	29,152	△ 12.4	△ 4,133	49,200
生産設備	11,180	15,700	18,768	67.9	7,588	25,000
販売・物流設備	8,984	4,500	2,518	△ 72.0	△ 6,466	6,600
ファーム・処理設備	8,203	6,500	4,670	△ 43.1	△ 3,533	10,500
海外事業設備	2,118	3,300	1,509	△ 28.8	△ 609	4,500
その他設備	2,800	2,000	1,687	△ 39.8	△ 1,113	2,600
減価償却費	19,323	20,000	18,649	△ 3.5	△ 674	19,700

5. 連結キャッシュ・フロー

Copyright (C) 2014 Nippon Meat Packers, Inc. All rights reserved.

(単位: 百万円)

《連結キャッシュ・フロー計算書》	2013年3月期	2014年3月期		2015年3月期
	通期実績	通期実績	対前年増減額	通期計画
★① 営業活動キャッシュ・フロー	37,407	32,952	△ 4,455	46,300
★② 投資活動キャッシュ・フロー	△ 54,813	△ 17,909	36,904	△ 48,300
財務活動キャッシュ・フロー	△ 10,964	△ 9,373	1,591	△ 6,300

主な増減要因

★① 営業キャッシュ・フローの主な内訳

(単位: 百万円)

	2013年3月期	2014年3月期	
	通期実績	通期実績	対前年増減額
売上債権(△増)減	△ 3,178	6,339	9,517
棚卸資産(△増)減	1,722	△ 8,215	△ 9,937

★② 投資キャッシュ・フローの主な内訳

(単位: 百万円)

	2013年3月期	2014年3月期	
	通期実績	通期実績	対前年増減額
固定資産の取得	△ 29,904	△ 22,690	7,214
短期投資の(△増)減	△ 27,330	855	28,185

お問合せ先
〒141-6014 東京都品川区大崎2-1-1
ThinkPark Tower 14階
日本ハム株式会社 広報IR部
電話: 03-4555-8024
FAX: 03-4555-8189

見通しに関する注意事項

この資料には、当社の将来についての計画や戦略、業績に関する見通しの記述が含まれています。
これらの記述は当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定及び所信に基づく見通しです。
また、経済環境、市場動向、為替レートなどの外部環境の影響があります。
従って、これら業績見通しのみに全面的に依拠することは控え頂きますようお願い致します。
また、実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しと異なる結果となりうることをご承知おき下さい。